

東京電力福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップを踏まえた主な検討指示事項

平成30年3月30日

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

- ① 中期的リスクの低減目標マップに示されている項目毎にスケジュールを明確にし、実施状況を報告すること。
- ② 実施時期が未確定のものについて以下の検討をすること。

	対象	大項目	中項目	検討指示事項
1	1号 2号 3号	液体 Rw	滞留水の発生ゼロ (冷却水)	○燃料デブリ冷却水の完全循環化 ・冷却水による建屋内の滞留水の発生を実質的にゼロにするためには、原子炉建屋から直接取水し、処理後、直接注水する完全循環型の冷却について検討すること。 ・地下水の水位を T. P. -1,000mm 以下に管理するとしているが、地下水の原子炉建屋への流入についてどのような管理を行うのか明確にすること。
2	1号 2号 3号 4号	液体 Rw	滞留水の発生ゼロ	○1～3号機原子炉建屋を除く建屋における滞留水の処理完了後の地下水流入抑制 ・建屋内のスラッジの除去の程度により、今後地下水等の流入によって再び滞留水の発生の可能性もあることから、滞留水処理完了後において、新たな滞留水の発生を防ぐための流入抑制策等を検討すること。
3	1号 2号 3号 4号 5号 6号	SFP	SFP 取出し	○使用済制御棒の取り出し ・具体的な使用済制御棒等の取り出し及びその後の保管方法を明確にすること。
4	1号 2号 3号 4号 5号 6号	SFP	SFP 取出し	○水抜き ・使用済燃料プールからの水抜きの時期を明確にすること。

5	共通	液体 Rw	汚染水の発生抑制	<p>○建屋回りのフェーシング等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下水の建屋への流入を抑制するために必要な措置であることから具体的な方法及び時期を明確にすること。
6	共通	液体 Rw	溜まり水除去	<p>○構内溜まり水等の除去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構内たまり水の所在については調査されているが、その後の処理については明確になっていない。今後の処理の方針を明確にすること。
7	共通	液体 Rw	溜まり水除去	<p>○地下貯水槽の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下貯水槽については、周囲での漏えいの観測を行っているところであるが、今後の使用の可能性もないことから撤去の具体的な方法及び時期を明確にすること。
8	共通	固体 Rw	分析	<p>○放射性分析施設（第2棟）の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析のニーズを明確にすること。 ・放射性分析施設（第2棟）が設置されるまで、必要な分析能力が確保されているのか確認すること。
9	共通	固体 Rw	廃棄物安定化	<p>○AREVA 除染装置スラッジの安定化処理に関する研究</p> <p>○AREVA 除染装置スラッジの安定化処理設備設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高台に移送することによって、津波対策は行われるものの、容器に収納した後、容器からの漏えいリスクを低減するため、ALPS スラリーと同様にスラッジの安定化処理を行う具体的な方法及び時期を明確にすること。
10	共通	固体 Rw	廃棄物安定化	<p>○濃縮廃液の安定化処理設備設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容器からの漏えいのリスク低減のために濃縮廃液の安定化処理を行う具体的な方法及び時期を明確にすること。
11	共通	地震・津波	地震	<p>○検討用地震動への対応方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討用地震動を用いた格納容器（サプレッションチェンバ等）の耐震性評価を実施すること。

12	共通	環境への負荷低減	—	<p>○排水路の水の放射性物質の濃度低下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる環境への負荷低減のため排水路の水の放射性物質の濃度低下のための具体的方策を検討すること。
13	共通	環境への負荷低減	—	<p>○建屋周辺ガレキの撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水路へ流れる雨水等の放射性物質の濃度を低減するため、放射性物質が付着している建屋周辺のガレキの撤去について検討すること。
14	共通	施設内調査	タンク総容量削減	<p>○多核種除去設備処理水の規制基準を満足する形での海洋放出等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多核種除去設備処理水の規制基準を満足する形での海洋放出等について早期に判断すること。
15	共通	施設内調査	デブリ小規模取出し	<p>○小規模取り出しに係る安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全確保の観点から、具体的な方法を早期に示すこと。
16	共通	施設内調査	デブリ本格取出し	<p>○本格取り出しに係る安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全確保の観点から、具体的な方法を示すこと。

③ 実施するか否かも含め検討が必要なものについて以下の検討をすること。

	対象	大項目	中項目	検討指示事項
17	1号 2号 3号	液体 Rw	滞留水 処理	<ul style="list-style-type: none"> ○原子炉建屋（R/B）内の処理 <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋内の滞留水の処理方針を検討すること。 ○燃料デブリ冷却の方針決定 <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋内の滞留水を処理するため、将来において燃料デブリ冷却水を用いない方法に変更する必要があるか否かを検討すること。 ○燃料デブリ冷却の空冷化 <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋内の滞留水を処理するため、燃料デブリの冷却方法を空冷化とする必要があるか否かを検討すること。
18	共通	地震・ 津波	地震	<ul style="list-style-type: none"> ○建屋構造物の劣化対策 <ul style="list-style-type: none"> ・建屋内の水没している箇所等については、腐食等の可能性があり、構造物としての劣化が懸念される。今後、長期に渡って廃炉作業を円滑に進める観点から、廃炉作業に必要とされる建屋の健全性維持のため劣化対策が必要と考えるが、方針を検討すること。
19	共通	環境負 荷低減	—	<ul style="list-style-type: none"> ○T.P. 2. 5m 盤の環境改善 <ul style="list-style-type: none"> ・T.P. 2. 5m 盤の地下には、放射性物質に汚染されている箇所があり、その状況についてモニタリングがなされているところである。今後の放射性物質の除去に係る方針を検討すること。